



内閣府（防災担当）

松本防災担当大臣の霧島山（新燃岳）の噴火に係る現地調査報告

1 概要

松本防災担当大臣は、霧島山（新燃岳）の噴火に伴う空振等による被害状況、住民の避難の状況及び土石流・泥流対策の進捗状況等を把握するため現地調査を実施しました。

2 調査日

平成23年2月11日（金）～12日（土）

3 調査先

鹿児島県霧島市、新燃岳周辺、宮崎県都城市、宮崎県高原町

4 調査の概要

松本防災担当大臣は、現地にて、伊藤鹿児島県知事、前田霧島市長、河野宮崎県知事、日高高原町長等から、順次、新燃岳の噴火に伴う被害及び現地の対応状況等について説明を受けました。

鹿児島県霧島市の霧島温泉郷では、空振によりガラスが破損した旅館等の被害状況等を調査しました。その後、自衛隊機にて霧島山（新燃岳）の状況及び周辺地域の状況を上空より調査しました。

宮崎県都城市では、前回調査を実施した夏尾地区を再度、調査しました。

また、降灰による被害の大きかった宮崎県高原町では、不便な生活を強いられている住民の避難の状況、ボランティアの活動状況、土石流・泥流対策の進捗状況等について調査しました。